

ぱれっと

4月号

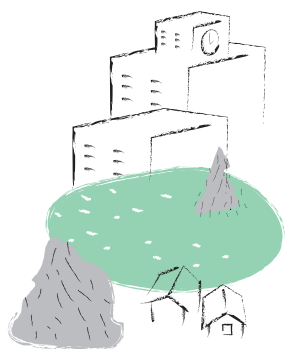
仙台市市民活動サポートセンター通信

2014 No.176

特集

はじめてのサポセン
ブックレビュー

“ぱれっと”には、サポセン にいろいろな人が集まり、それぞれの色（個性）が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく…そんな願いがこめられています。



普段の暮らしの中で、
「おかしいな」「こうしたらもっと良いまちになるのにな」
と感じることはありませんか？
こう感じている人もいます。
「なにか地域のためにしたい」「もっと暮らしやすい
場所がつかれないか」とか。

震災から続く日々の暮らしの中、
仙台では多くの方が色々な立場で
地域や社会の事を考えています。

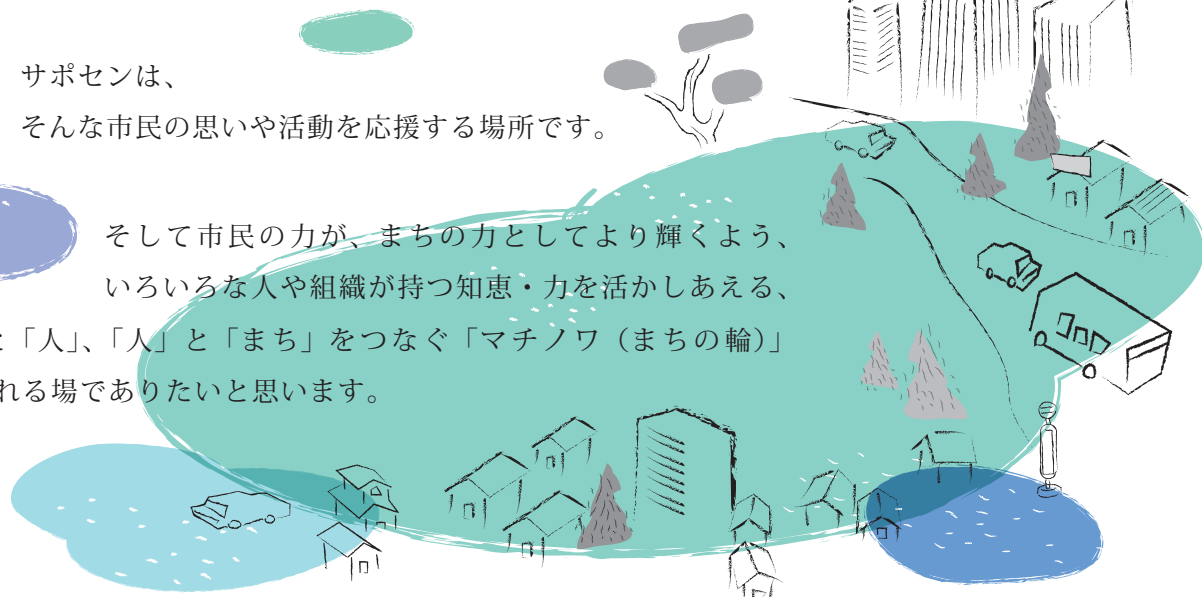
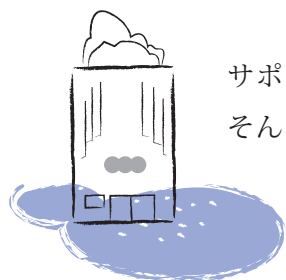
施設の名前にも入っている
「市民活動」。

こう聞くと少し難しい気がしますが、
始まりは普通の市民の小さな思いから。



サポセンは、
そんな市民の思いや活動を応援する場所です。

そして市民の力が、まちの力としてより輝くよう、
いろいろな人や組織が持つ知恵・力を活かしあえる、
「人」と「人」、「人」と「まち」をつなぐ「マチノワ（まちの輪）」
が生まれる場でありたいと思います。



はじめてのサポセン

仙台市市民活動サポートセンター(通称サポセン)は、仙台市の中心部、広瀬通りに面し、地下鉄「広瀬通駅」西5番出口から12歩のところにあります。「そんな場所があったなんて、知らなかった!」という方も、ぜひのぞいてみてください。

ここはどんなところなの?

まだ仙台のこと、よく知らなくて…
気軽に参加できるイベントはある?
仙台の復興ってどうなってるの?

DOKI
DOKI

サポセン

一歩 中へ入ってみよう

サポセンは、「自分たちの住むまちや社会を、もっと良くしたい。」そんな市民の自発的な活動を応援している施設です。さまざまな分野の市民活動・ボランティア活動の拠点として、日々多くの市民の方にご利用いただいています。まずは、1階受付スタッフまでおたずねください。

こんにちはー ようこそー うふふ

NPO・市民活動ってなんだろう。

市民が自発的に社会の問題解決に向け行動することを一般に「市民活動」「ボランティア活動」といいます。そしてこのような活動をしている団体(組織)のことを「NPO」と呼びます。NPOは自らの手で自分たちの住む社会をもっと良くしたい!という気持ちを持った市民の集まりです。

▷まちの美化活動、地域の高齢者のために食事を届ける、里山の保全と活用、音楽やスポーツでまちを盛り上げる…など、意識して周りを見渡してみると、実はたくさんの人たちが活動をしていますよ。

ニャルホド!

チラシとか、いっぱいあるぞ

サポセン1階の情報サロンでは、市民活動団体のみなさんから受け付けた、市民活動に関するイベント情報やボランティア情報などのチラシ・ニュースレター、団体パンフレットなど、さまざまな情報を見ることができ、お持ち帰りもできます。また、宮城県内・県外の市民活動団体に関する情報(過去に受け付けた、団体発行のチラシ・ニュースレターなど)が団体ごとにファイルされていて、どなたでも自由にご覧いただけます。情報収集にご活用ください。

あ、 声かけられちゃった…

差しつかえなければ、「こんな情報を探しています」とスタッフにお話いただくと、何かお手伝いできるかもしれません。

よし、もう一歩!

面白そうだな…

WAKU!
WAKU!

サポセンでは、「何か始めたいけれど、なかなかキッカケがなくて…」という方や「NPOってなに?」という方が気軽に参加できるイベントや講座をひらいています。分野も世代も違ういろいろな方々が交流し、学び合う場です。

▶▶ホームページやツイッターでイベント情報をチェック!「仙台サポセン」で検索!▶▶▶

ホームページ

<http://www.sapo-sen.jp/>

ツイッター

<https://twitter.com/sensapo>

最近、こんなイベントをやりました。

NPO 活動お試し体験の会 3/23 (日) 仙台福祉プラザにて

「地域や社会で何かの役に立ちたいけれど、自分がどのように役に立つことができるのか分からない」という方々に、市民活動を体験していただく機会をつくりました!

案内人

あがいん

NPO 法人ふうどばんく東北 AGAIN

事務局長 高橋陽佑 さん

「ふうどばんく東北 AGAIN」は、食品としての価値がありながら、賞味期限が近いなどの理由で店頭には並ばない食べ物を無償で寄付してもらい、生活困窮者へ届ける活動を行っている団体です。

Report!

AGAIN が企画実施する食事会の、調理作業から配膳までの一連の活動を体験。「このような活動があるなんて知りませんでした」と、参加者のお一人。はじめの一歩を踏み出したことで、市民活動に興味がわき、社会参加のきっかけがつかめたようでした。

TAKE FREE!

「何かハジメたい!」と思っているアナタに役立つ情報をお持ち帰りいただけます!



「ハジマル、フクラムプロジェクト」は、自分の好きなこと、気になることをテーマにはじまった色々な活動について、はじめた人たちのおはなしを聞くトークイベント。昨年は全4回開催し、その様子をまとめたフリーペーパーを発行。何かはじめるヒントがつまっています!

人生再設計のススメ 其の式

シニア世代の方々がご自身の思いを形にするため、その「一歩」の踏み出し方のヒントをまとめた冊子です。地域や社会で自分の経験を活かし、何か役に立ちたいと考えている皆さんへ、ちょっと先行く諸先輩たちの6つの事例をご紹介します。

※サポセンで配布中!

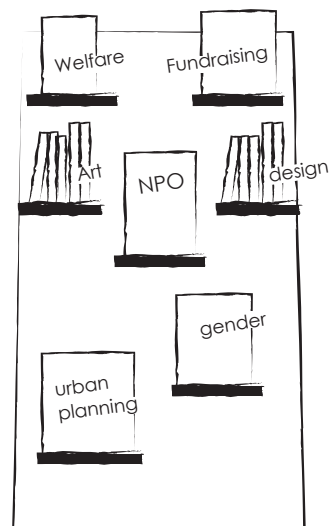


書コーナーもあるよ！

サポセン 1F は NPO や市民活動、ボランティア活動に関する情報をゆっくり収集できるスペース。奥には、市民活動や NPO、まちづくりに関連する書籍もあります。その場で自由に読むことができるほか、白書など一部の図書を除き、貸出も行っています。貸出期間は 2 週間で、1 人 1 回につき 2 冊まで。詳しくはスタッフまでお尋ねください。



BOOK



ちょっとご紹介
ブックレビュー！

たりないピース The Search For Earth's Missing Peace

著者：宮崎あおい & 宮崎将 / 写真：森本美絵 / 発行人・発行日：熊谷玄典 / 2006 年 7 月 20 日



女優・宮崎あおいと、彼女の兄・将がインドのコルカタの旅を通して、感じたこと、考えたこととは…。女優という仕事をしている彼女ならではの言葉がつづられた日記や、インドの人々の暮らしが、私たちの暮らしの近くに感じられる写真集です。もちろん、彼女の素敵な表情も入っています。スラム、フェアトレード、カースト、路上生活、貧困。ふたりが見たインドのリアルからは、家族がいて、お家があって、あったかいごはんが食べられて、日々の暮らしの中にいっぱい笑顔があって、自由に仕事ができ、自由に恋愛ができる。そんなあたりまえのことが、じつはとても尊いことだということを教えてください。そして、今、世界でなにが起きているのか。途上国の現状を「知る」ということが、問題を解決する、はじめの一歩かもしれません。

(サポセンスタッフ 松田照子)

つながる つなげる サポセン

▶ 仙台市市民活動サポートセンターとは

さまざまな分野の市民活動団体や NPO、ボランティアなど、非営利で公益的な活動をしている人たちや、これから活動しようと考えている人たちのための拠点施設です。

このようなご相談おまかせください

- ・市民活動の立ち上げ、法人格の取得・団体運営、組織運営
 - ・復興支援活動・シニア活動、セカンドライフ相談など
- まずは、お電話ください。

開館時間 平日：午前 9 時～午後 10 時 / 日祝：午前 9 時～午後 6 時
休館日 毎月第 2・第 4 水曜日（祝日の場合は翌日木曜日）及び、年末年始（12/29～1/3）

HP



blog



Twitter



"Follow Me!"



編集後記：新年度ですね！新しい環境に身を置かれる方も多いかと思います。ぱれっとも少しリニューアルしましたよ！今年度は年 4 回、増刊号を発行する予定です。気持ちを新たに、頑張っていきます！

▷ぱれっと読者アンケートにご協力をお願いします！



サポセンホームページからアクセスいただくか、携帯電話等で右記の 2 次元バーコードを読み取ってご利用ください。

発行：仙台市市民活動サポートセンター

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目 1-3
TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042
HP <http://www.sapo-sen.jp>
Blog <http://blog.canpan.info/fukkou/>
Twitter <https://twitter.com/sensapo>

発行日：2014 年 4 月 1 日

編集：特定非営利活動法人 せんだい・みやぎ NPO センター

編集人：菊地竜生 菅野祥子 田口博徳 葛西淳子 松村翔子